

令和5年
8月
第53号

あさひ 農委だより

編集・発行
旭市
農業委員会
電話
0479-74-7187

新農業委員・ 農地利用最適化推進 委員が決まりました

農業委員会等に関する法律に基づき市議会の同意を得て、7月20日に新しい農業委員17名が市長より、任命を受けました。また新しい農地利用最適化推進委員20名も旭市農業委員会より委嘱を受け就任いたしました。

農業委員会は、農地法に基づく案件の審議等の他、必須業務として位置付けられている農地利用の最適化の推進（担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進）を重点的に取り組んでおり、農業委員と農地利用最適化推進委員が密接に連携し、活動しています。

また、農地を守り、活かし続けるため、各地区における農業者の意向を十分把握しながら、農地の利用調整及び優良農地の維持、確保に努め、農業の振興を図って参ります。

会長及び会長職務代理者の紹介

7月20日に初総会が召集され、会長に渡邊 茂委員
会長職務代理者に岩岡 喜久男委員
が選出されました。

会 長 渡 邊 茂



旭市溝原二二二六
☎六八一三三三七

会長職務代理者 岩岡 喜久男



旭市萬力二八三
☎六八一二八五二
担当地区
〔鍋木・萬力・秋田〕

就任のご挨拶

旭市農業委員会

会長 渡 邊 茂

農業者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会の運営と活動に対しまして深いご理解とご協力を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

去る7月20日に開催されました、農業委員会初総会におきまして、旭市農業委員会会長を務めさせていただくこととなりました。

農業を取りまく情勢は、農業従事者の高齢化や後継者不足、農産物の価格の低迷等により厳しい状況にあり、本市においても例外ではございません。

そのため、農地利用の最適化の推進や、将来の農地利用の在り方について審議し、地域計画の策定などを進めて行くと共に、農地と農政を取り巻く状況を再認識し、更なる農業の発展のため、農業委員会は一丸となり責務を全うする所存であります。

今後皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

新農業委員の紹介

農地に関する相談は、お近くの農業委員へ
お気軽にお申出ください。

※注 掲載は議席番号順・〔 〕内は担当地区



安藤 育生

旭市幾世九六二
☎五五―三〇一九
〔松ヶ谷・幾世・清滝・
琴田（一部）〕



大越 義昭

旭市三川三九三四
☎五七―四〇七八
〔三川〕



加瀬 茂

旭市塙二一六五
☎五七―四〇七二
〔飯岡・上永井・
下永井・塙・八木〕



高橋 勤

旭市川口三三八―一
☎六二―一九九五
〔井戸野・川口・駒込・
大塚原・泉川〕



加瀬 政夫

旭市琴田一〇〇三
☎六二―三五六
〔鎌数東部・新町〕



伊藤 茂雄

旭市三川六四〇三―三
☎五七―三三四〇
〔行内・平松・横根・
萩園・飯岡（一部）・
三川（一部）〕



浪川 勝子

旭市後草一五七五―二
☎五五―四八四四
〔琴田・江ヶ崎・高生・
後草〕



飯舘 伊千良

旭市琴田二八八一
☎六二―四八四四
〔琴田・江ヶ崎〕



岩崎 傳一

旭市入野八五二―六
☎六八―三三四
〔溝原・櫻井・萬歳・
関戸・清和甲・清和乙・
南堀之内・長部〕



木村 悦子

旭市清和乙六三八―一
☎六八―四七五二
〔鎌数西部・
二（新川より西側）〕



林 正明

旭市二の三七二六
☎六二―〇七五四
〔二（新川より東側）〕



川口 誠一
旭市米込三八三
☎六八一三三三〇
〔入野・米込〕



鈴木 京子
旭市足川四四六三一
☎六二二三九六五
〔仁玉・中谷里・神宮寺〕



嶋田 明範
旭市見広五四六
☎五五一二五九七
〔岩井・見広・大間手・倉橋・蛇園〕



鷺山 敦美
旭市西足洗二六五五
☎六二二三三九三
〔イ・ロ(一部)・ハ・西足洗・東足洗・野中・椎名内・足川〕

委員長 飯 嶋 伊千良
副委員長 岩 崎 傳 一
委員 大 越 義 昭
委員 安 藤 育 生
委員 伊 藤 茂 雄
委員 高 橋 勤
委員 鈴 木 京 子
委員 川 口 誠 一

《農地・農政委員会》

委員長 鷺 山 敦 美
副委員長 加 瀬 茂
委員 浪 川 勝 子
委員 加 瀬 政 夫
委員 林 正 明
委員 木 村 悦 子
委員 嶋 田 明 範
委員 飯 嶋 伊 千 良
(農地・農政委員長)

《運営委員会》

会長 長 渡 邊 茂
会長職務代理者 岩 岡 喜 久 男

新農業委員会小委員会構成



椎名 良雄
旭市川口三〇一一
☎六三一四三七三
〔井戸野・川口・駒込・大塚原・泉川〕



大橋 幸雄
旭市中谷里五一
☎六三一六二六三
〔仁玉・中谷里・神宮寺〕



伊藤 毅
旭市野中三二〇一
☎六三一〇四九九
〔西足洗・東足洗・野中・椎名内・足川〕



林 正規
旭市ハの六〇七
☎六四一八八八六
〔ロ・二(新川より東側)〕



玉置 勘一郎
旭市イの二〇二七一
☎六二一〇七七六
〔イ・ロ(一部)・ハ〕

※注 〔 〕内は担当地区

新農地利用最適化推進委員の紹介



遠藤 英雄

旭市岩井一九〇
☎五五―三三三五七
〔岩井・見広・大間手〕



渡邊 公平

旭市蛇園三八二四
☎五五―三三六六七
〔倉橋・蛇園〕



齊藤 光正

旭市江ヶ崎一五四八
☎六三―一七九八
〔琴田・江ヶ崎〕



平野 幸英

旭市鎌数三九四一
☎六三―二六二三
〔鎌数西部・
二(新川より西側)〕



小嶋 正史

旭市新町一〇八五
☎六三―三六〇七
〔鎌数東部・新町〕



石毛 新一郎

旭市三川九三七七
☎五七―三九九四
〔三川〕



石田 定雄

旭市三川四八六四―二
☎五七―三七一九
〔行内・平松・横根・
萩園・飯岡(一部)・
三川(一部)〕



石毛 克美

旭市八木二四三〇
☎五七―三三九九
〔飯岡・上永井・
下永井・八木〕



伊藤 安治郎

旭市高生二九九〇
☎五五―二三〇一
〔松ヶ谷・幾世・清滝・
琴田(一部)〕



崎山 忠志

旭市後草二六三六
☎五五―三三五二
〔琴田・江ヶ崎・
高生・後草〕



伊藤 優悦

旭市萬力二四二二
☎六八―三二八〇
〔清和甲・清和乙・
南堀之内・長部〕



林 完治

旭市錦木三六二九
☎六八―二二〇五
〔錦木・萬力・秋田〕



石毛 秀治

旭市米込三三八一
☎六八―三三〇〇
〔入野・米込〕



穴澤 裕

旭市萬歳一九八六―二
☎六八―三二八三
〔溝原・櫻井・
萬歳・関戸〕



菅生 知機

旭市塙二二二〇
☎五七―三三三五
〔塙・八木(一部)〕

令和5年
8月
第53号
別冊

あさひ 農委だより

編集・発行
旭市
農業委員会
電話
0479-74-7187



農業委員会会長として

旭市農業委員会会長 加瀬 一四郎



農業委員会会長を拝命した後、3年間の任を解かれる時期となりました。コロナ感染症の拡大という事態の中、様々な制約を受けましたが、審議を休むことなく、委員一丸となり、国や自治体から課せられた様々な政策課題に取り組み、多くの活動を成すことができたのは、各位の支援のおかげであります。

今後、目まぐるしく変わる農政施策の中、益々、農業委員会の重要性は高まってきます。何よりも若い後継者、新規参入者が夢を描いて、この旭市で精一杯、農業に取り組んで頂けるよう、支援していくことが大切だと考えております。

最後に、関係各位の一層のご発展を祈念して退任のご挨拶と致します。

農業委員会会長職務代理者として

会長職務代理者 崎山 昭一



農業者の皆様方には、日頃より農業委員会活動に、ご理解とご協力を賜りまして、ありがとうございます。

会長職務代理者としては3年間、地域農業の発展のため努力して参りましたが、コロナ禍で活動が制限された中でしたが、地域の皆様、同僚委員の皆様から助けられながらの3年間でありました。

いまだコロナによる影響やウクライナ情勢による飼料等の価格高騰など、農業を取り巻く環境は厳しい状況ですが、次期委員の皆様には本市の農業発展のため、ご活躍を期待します。

運営委員長を経験して

平塚運営委員長



推進委員、農業委員を6年間務めさせていただき、今回、運営委員長という大役を任せられ、改めて責任の重さを感じました。

コロナ禍により、行事が中止となり、行動制限の中でのスタートでしたが、委員の皆さんの協力のお陰で無事、任期を終えることができました。改めて深く感謝申し上げます。

今後、普通に職務や行事に取り組める世の中になって貰いたいと感じました。

農地・農政委員長を振り返り

長谷川農地・農政委員長



農業委員に任命され、初総会で、農地・農政委員長という大役をお受けいたしました。

私は、推進委員を3年、今回農業委員を3年務めさせていただきました。委員長として、難しい案件の協議や、委員として現地確認、農地パトロール等により、今まで気づけなかった農地状況を知り、貴重な経験をさせていただきました。最後に、委員の皆様のご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

推進委員幹事長として

岩崎推進委員幹事長



私たち推進委員20名は、農地利用の最適化の推進を図るため、担当地区の農地パトロールを中心に活動してまいりました。

令和2年7月より任に就いた訳ですが新型コロナウイルスによる、社会的な行動制限により、委員同士の交流等が図れなく、活動も難しい状況でした。

厳しい農業情勢ではありますが、次期推進委員の皆さんには本市農業の発展のため、ご尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

3年間の委員活動を振り返り



令和5年6月28日、全員協議会後に、委員の任期を振り返り、意見交換を行いました。

3年間を振り返り、コロナ禍という情勢でしたが、委員としての経験や、苦労など感想を述べ合いました。

旭市農業委員会視察研修会

コロナ禍のため控えていた視察研修について、5月から5類感染症への移行に伴い、5月16日から18日にかけて、長崎・福岡方面の視察を実施しました。

長崎では、優良農地の造成、高潮・洪水の防止等を図るため造成された、諫早湾の干拓地を視察。広大な農地では、麦の栽培が行われていました。また、福岡では「JA糸島産直市場、伊都菜彩」にて、多様な地域の農業者が参加し、農産物の供給や商品づくりに取り組んでいる様子を視察しました。



▲諫早湾の干拓地にて